

JBS、内製化に向け「Microsoft Power Platform」を 活用したいとお考えの企業様向けトレーニングサービスを拡充

日本ビジネスシステムズ株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長：牧田幸弘 以下、JBS）は、企業が「Microsoft Power Platform（※）」（以下、Power Platform）を着実に社内に普及させるためのトレーニングとして、ユーザー向けの「ステップアップトレーニング for Microsoft 365」と管理者向けの「運用管理マスター for Microsoft Power Platform」の提供を開始しました。

※ [Microsoft Power Platform](#) とは：「Microsoft 365 Apps」や「Microsoft Teams」などのアプリケーションと連携し、機能を拡張することで、業務に必要な仕組みを導入できるローコード開発プラットフォーム

サービス提供の背景

「Power Platform」はローコード開発で、現場の従業員が自らの手で業務の自動化を内製できるため、業務上必要な機能を自ら用意して使うとスピード感のある改革が実現できます。

とは言うものの、現場では自動化しなくても業務自体が回るため、なかなか自動化するメリットを理解できず、利用が進まないというご相談をいただくことも増えてきました。そういった場合には、従業員一人ひとりが「Power Platform」の必要性を理解し、意欲的に改革を進められるよう、会社から意識的に機会を仕掛けていく必要があります。

JBS はこれまで「Power Platform」をお客さまに導入してきた経験や JBS 自身が利用してきた経験から、従業員が「Power Platform」に慣れ親しみ、活用できるようになるためには「認知→知識の習得→実践」という学習ステップを踏んでいくことが、現場における内製化を進める上で重要になると実感しています。

ユーザー向けと管理者向け、それぞれに適したトレーニングサービスを準備

ユーザー向けの「ステップアップトレーニング for Microsoft 365」は、お客さまの業務シナリオベースでトレーニング内容を設計し、お客さま向けのトレーニングを丁寧に考案して提供するため、従業員に寄り添った内容で一人ひとりが自動化の必要性を理解しやすく、「Power Platform」の利用促進を進めることが可能です。

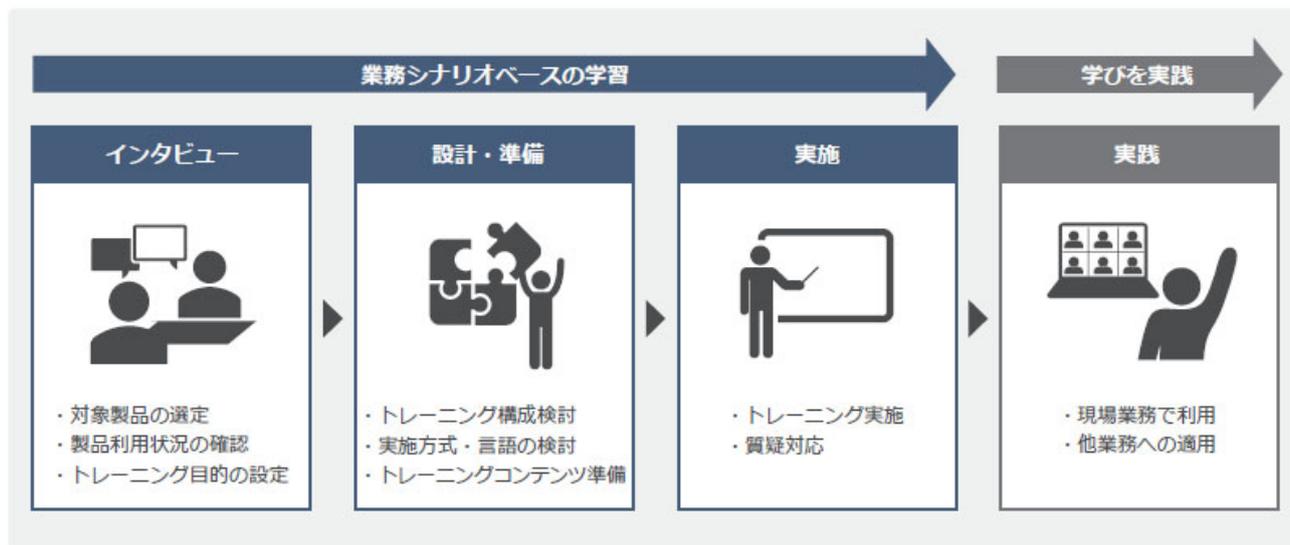
一方管理者側は、従業員が内製したアプリケーションを使っていくための環境を提供する上で、運用管理をどのように行うかを意識して準備し導入を進めないと、さまざまなリスクに直面する恐れがあります。「Power Platform」は他のシステムと異なり、導入後に利用するアプリケーションを用意することで初めて利用できる製品のため、利用範囲が拡大していく中で適切な対応が求められる製品でもあります。

そんな製品を使いこなす、利用の「自由」と「管理」のバランスを保ちながら企業にとって必要不可欠なシステムの一つとするためには、製品でできることはもちろんのこと、運用管理を行う際の注意点を把握しておくことが重要です。

「運用管理マスター for Microsoft Power Platform」は、「Power Platform」を導入した企業の管理者が知っておくべきことを体系的に学び、実践に活かしていただくことが可能です。

ステップアップトレーニング for Microsoft 365

「Power Platform」を含む「Microsoft 365」製品を業務に取り入れていただくためのユーザー向けトレーニングです。お客様の状況を把握し、最適なトレーニングプランを立案・提供することでトレーニング効果を最大化します。



サービスに関する詳しい情報や条件などは、以下のページをご覧ください。

<https://www.jbs.co.jp/solution/list/stepuptrainingformicrosoft365>

運用管理マスター for Microsoft Power Platform

「Power Platform」の管理機能や運用時に気を付けるべきことを学べる管理者向けのトレーニングです。ユーザー主体でアプリを作成し利用していくことを想定した一般的な運用管理を短時間で学べます。



サービスに関する詳しい情報や条件などは、以下のページをご覧ください。

<https://www.jbs.co.jp/solution/list/masterformicrosoftpowerplatform>

参考：JBS が提供する Power Platform サービス

「Power Platform」の組織への浸透・定着を意識し、フェーズ×利用シナリオに沿ってサービス提供をしています。
赤枠箇所が今回リリースしたトレーニングサービスです。

導入フェーズ 利用シナリオ	導入初期		本格展開	
	概要を知る	試してみる	利用範囲を広げる	業務利用を促進する
個人	Content Box	・ 運用スタートガイド	Content Box	サービス準備中
課/チーム	ファーストステップガイド	・ アプリポケット ※	・ ステップアップトレーニング	
部門間/組織		・ アプリメーカー	・ 運用管理マスター for Microsoft Power Platform	

※アプリポケット インタビュー記事：https://japan.zdnet.com/extra/jbs_m365_202106/35172100/

今後も JBS は、マイクロソフトをはじめとするパートナーとの強力な連携を通じて、技術革新がもたらす企業・社会の持続的成長に貢献できる存在を目指してまいります。

参考：オンラインセミナー情報

失敗しない Power Platform 導入ステップ解説セミナーシリーズ

第 3 回：利用を拡大するために必要なコトとは？

～ IT 部門・事業部門の役割と役割ごとに必要な知識の習得とは何か ～

日時：5/19（木）12:00-12:45

Power Platform を利用されている方、利用を検討されている方を対象に、導入初期から本格展開までの各フェーズに焦点を当て、それぞれのフェーズでどのようなことを考慮すべきか、注意点はどこにあるのか、また導入を成功に導くための Tips など、さまざまな観点から解説するセミナーをシリーズ開催します。

第 3 回は、Power Platform を導入し「利用範囲を広げる」ステップに焦点をあてて解説します。

https://pages.jbs.co.jp/Webinar_Power-Platform_20220519.html?ref=Webinarseries_PowerPlatformLP

【日本ビジネスシステムズ株式会社（JBS）について】

■会社概要

代表者：代表取締役社長 牧田 幸弘

設立：1990年10月4日

社員数：2,249名（2021年10月時点）

URL：<https://www.jbs.co.jp>

■事業概要：

マイクロソフトをはじめとするクラウドソリューションに強みを持つ JBS は、コンサルティングからソリューション導入・運用・利活用に至る一連のご支援を通じて、お客さまのクラウド活用力向上と社会のデジタル変革に貢献します。

- 日本マイクロソフトが選出する「マイクロソフト ジャパン パートナー オブ ザ イヤー」を 2013 年より連続受賞（2021 年は Modern Endpoint Management アワード）
- マイクロソフト Azure Expert マネージド サービス プロバイダー（MSP）認定
- マイクロソフト Gold コンピテンシー 19 カテゴリー保有

※Microsoft、Power Platform、Teams は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

※Microsoft 365 は、Microsoft Corporation が提供するサービスの名称です。

※記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。

※本プレスリリースのすべての内容は、作成日時点でのものであり、予告なく変更される場合があります。また、様々な事由・背景により、一部または全部が変更、キャンセル、実現困難となる場合があります。予めご了承下さい。

■プレスリリースに関するお問い合わせ

日本ビジネスシステムズ株式会社 コーポレート戦略本部 経営企画室 コミュニケーション課 酒井

E-mail: CorporateCommunications@jbs.com / TEL: 03-6772-4000